

# 四半期報告書

(第37期第2四半期)

自 平成20年7月1日

至 平成20年9月30日

**曾田香料株式会社**

東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号

(E01043)

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

### 第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 経営上の重要な契約等	4
3 財政状態及び経営成績の分析	5

### 第3 設備の状況

### 第4 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	6
(2) 新株予約権等の状況	6
(3) ライツプランの内容	6
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	6
(5) 大株主の状況	7
(6) 議決権の状況	8

#### 2 株価の推移

#### 3 役員の状況

### 第5 経理の状況

#### 1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14

#### 2 その他

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年11月11日
【四半期会計期間】	第37期第2四半期（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）
【会社名】	曾田香料株式会社
【英訳名】	Soda Aromatic Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中地 俊朗
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記で行って おります。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町2番3号(本社事務所)
【電話番号】	03（5645）7340
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門長 中島 直文
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期 連結累計期間	第37期 第2四半期 連結会計期間	第36期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成20年7月1日 至平成20年9月30日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高（千円）	10,185,135	5,122,138	18,709,854
経常利益（千円）	1,503,713	759,505	2,419,779
四半期（当期）純利益（千円）	911,394	464,895	1,497,749
純資産額（千円）	—	11,416,361	10,642,021
総資産額（千円）	—	19,049,128	18,153,741
1株当たり純資産額（円）	—	1,142.04	1,064.49
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	91.17	46.50	149.82
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	—	59.9	58.6
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	838,032	—	1,994,798
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△412,944	—	△514,486
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△600,671	—	△919,644
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	—	2,774,500	2,949,677
従業員数（人）	—	360	343

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数（人）	360	(39)
---------	-----	------

(注) 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、当第2四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数（人）	295
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、含まれておりません。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
フレグランス (千円)	468,683
フレーバー (千円)	1,406,872
合成香料・ケミカル (千円)	2,357,830
合計 (千円)	4,233,386

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 商品仕入実績

当第2四半期連結会計期間における商品仕入実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
フレグランス (千円)	21,470
フレーバー (千円)	682,543
合成香料・ケミカル (千円)	400,397
合計 (千円)	1,104,411

- (注) 1. 金額は仕入価格で表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 受注状況

当第2四半期連結会計期間における受注状況を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
製品		
フレグランス	386,919	49,782
フレーバー	1,405,304	195,770
合成香料・ケミカル	2,098,620	141,737
小計	3,890,844	387,290
商品		
フレグランス	73,378	19,757
フレーバー	672,520	116,299
合成香料・ケミカル	385,657	37,710
小計	1,131,555	173,767
合計	5,022,399	561,058

- (注) 金額は販売価格で表示しております。

#### (4) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
製品	
フレグランス (千円)	373,131
フレーバー (千円)	1,415,839
合成香料・ケミカル (千円)	2,177,533
小計 (千円)	3,966,503
商品	
フレグランス (千円)	64,514
フレーバー (千円)	667,201
合成香料・ケミカル (千円)	423,022
小計 (千円)	1,154,738
その他 (千円)	896
合計 (千円)	5,122,138

(注) 1. 当第2四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
D I C株式会社	876,179	17.1

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油をはじめとする原材料価格の高騰が企業収益や家計を圧迫するなか、米国発の金融危機により世界経済が急速に悪化し、国内景気の減速感が一層強まり、本格的な景気後退局面に入る兆しを見せております。

香料業界におきましても、食品の値上げの影響等により、国内市場の売上は伸び悩んでおり、販売競争が激化するなかで原燃料価格の上昇も加わり、厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループはフレグランス、フレーバー、合成香料・ケミカルの3事業部門ごとに持続的な収益拡大に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化し、自社製品の売上高増加に注力いたしました。そして、生産性の向上や総費用の見直しなどの各種施策にも積極的に取り組み、事業収益の向上と経営の効率化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間の売上高のうち自社製品につきましては、フレグランス、フレーバーが好調に推移し、合成香料・ケミカルも大幅に拡大したことから、3,966百万円となりました。仕入れ商品も含めた全体の売上高は、5,122百万円となりました。

利益につきましては、自社製品の拡販を積極的に進めたことや、原燃料価格が上昇する中で製造原価低減、経費の抑制に努めたことから収益性が向上し、営業利益は750百万円、経常利益は759百万円、四半期純利益も464百万円となりました。

部門別売上高につきましては、フレグランス部門は、主力のシャンプー・リンス等の頭髪用化粧品香料は低調でしたが、消臭・芳香剤用香料が大幅に伸長したことから、製品売上高は373百万円となりました。フレーバー部門は、コーヒー、機能性飲料等の飲料用香料が拡大し、製品売上高は1,415百万円となりました。合成香料・ケミカル部門は、電子材料用ケミカル製品が大幅に拡大したことから、製品売上高は2,177百万円となりました。

(注記) 当社グループは、単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメント情報はありません。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期連結会計期間末に比べ203百万円増加し、2,774百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは204百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は420百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が747百万円、減価償却費が161百万円、たな卸資産が466百万円の増加となったことなどによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は215百万円となりました。これは主に、製造設備等の有形固定資産の取得による支出209百万円によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は0百万円となりました。これは、自己株式の取得による支出などによるものです。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、236百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

### 第4【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,400,000
計	34,400,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	ジャスダック証券取引所	—
計	10,000,000	10,000,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年7月1日～ 平成20年9月30日	—	10,000	—	1,490,000	—	1,456,855

## (5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町2-1-1	5,001	50.01
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町1-2-1	1,500	15.00
曾田香料従業員持株会	東京都中央区日本橋小伝馬町2-3	398	3.98
曾田 義信	東京都大田区	361	3.61
バンク オブ ニューヨーク ジ ーシーエム クライアント アカ ウント ジェイピーアールデイ アイエスジー エフイー-エイシ ー (常任代理人 株式会社三菱東京 U F J 銀行)	PETERBOROUGH COURT 133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB UNITED KINGDOM  (東京都千代田区丸の内2-7-1)	266	2.66
谷本 正敏	東京都中野区	210	2.10
エイチエスビーシー ファンド サービシズ クライアンツ ア カウント 500 ピー  (常任代理人 香港上海銀行東京 支店)	1 QUEEN'S ROAD CENTRAL HONG KONG  (東京都中央区日本橋3-11-1)	141	1.41
第一生命保険相互会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	120	1.20
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	100	1.00
仙波糖化工業株式会社	栃木県真岡市並木町2-1-10	95	0.95
計	—	8,193	81.93

(注) タワー投資顧問株式会社から平成20年5月21日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成20年5月15日現在で502千株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、タワー投資顧問株式会社の大量保有報告書の写しの内容は以下のとおりであります。

大量保有者	タワー投資顧問株式会社
住所	東京都港区芝大門1丁目12番16号 住友芝大門ビル2号館2階
保有株券等の数	株式 502,000株
株券等保有割合	5.02%

上記以外の大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 3,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 9,993,000	9,993	—
単元未満株式	普通株式 4,000	—	—
発行済株式総数	10,000,000	—	—
総株主の議決権	—	9,993	—

② 【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
曾田香料株式会社	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号	3,000	—	3,000	0.03
計	—	3,000	—	3,000	0.03

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高 (円)	900	1,035	1,055	1,050	1,100	1,080
最低 (円)	870	860	1,016	1,020	1,050	1,018

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,774,500	2,949,677
受取手形及び売掛金	4,133,879	3,692,891
商品	88,010	47,383
製品	1,661,394	1,622,777
原材料	1,331,880	1,147,773
仕掛品	2,106,075	1,654,274
その他	463,491	450,215
貸倒引当金	△5,276	△5,560
流動資産合計	12,553,955	11,559,433
固定資産		
有形固定資産	※1 4,788,689	※1 4,865,977
無形固定資産	40,993	38,756
投資その他の資産	1,665,489	1,689,573
固定資産合計	6,495,172	6,594,308
資産合計	19,049,128	18,153,741
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,836,958	2,063,632
短期借入金	1,000,000	1,500,000
未払法人税等	588,862	611,700
賞与引当金	478,126	453,892
役員賞与引当金	7,601	14,216
その他	657,905	814,602
流動負債合計	5,569,454	5,458,043
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付引当金	1,823,320	1,830,197
役員退職慰労引当金	138,543	122,030
その他	1,448	1,448
固定負債合計	2,063,312	2,053,676
負債合計	7,632,766	7,511,720

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	8,363,122	7,551,700
自己株式	△2,361	△1,523
株主資本合計	11,307,616	10,497,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	142,429	155,224
繰延ヘッジ損益	3,442	29,975
為替換算調整勘定	△37,125	△40,210
評価・換算差額等合計	108,745	144,989
純資産合計	11,416,361	10,642,021
負債純資産合計	19,049,128	18,153,741

(2) 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	10,185,135
売上原価	6,725,545
売上総利益	3,459,590
販売費及び一般管理費	* 1,970,546
営業利益	1,489,043
営業外収益	
受取利息	5,203
受取配当金	7,760
持分法による投資利益	8,212
その他	7,464
営業外収益合計	28,640
営業外費用	
支払利息	6,235
債権売却損	5,145
その他	2,589
営業外費用合計	13,971
経常利益	1,503,713
特別利益	
貸倒引当金戻入額	284
特別利益合計	284
特別損失	
固定資産除却損	3,255
和解金	12,000
特別損失合計	15,255
税金等調整前四半期純利益	1,488,742
法人税等	577,347
四半期純利益	911,394

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
売上高	5,122,138
売上原価	3,378,451
売上総利益	1,743,686
販売費及び一般管理費	※ 993,506
営業利益	750,179
営業外収益	
受取利息	2,427
受取配当金	1,936
持分法による投資利益	6,311
その他	5,180
営業外収益合計	15,855
営業外費用	
支払利息	2,467
債権売却損	2,576
その他	1,485
営業外費用合計	6,529
経常利益	759,505
特別利益	
貸倒引当金戻入額	865
特別利益合計	865
特別損失	
固定資産除却損	1,347
和解金	12,000
特別損失合計	13,347
税金等調整前四半期純利益	747,023
法人税等	282,128
四半期純利益	464,895

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,488,742
減価償却費	319,518
固定資産除却損	2,174
持分法による投資損益(△は益)	△8,212
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△284
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,233
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,615
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,635
受取利息及び受取配当金	△12,963
支払利息	6,235
和解金	12,000
売上債権の増減額(△は増加)	△440,987
たな卸資産の増減額(△は増加)	△712,831
仕入債務の増減額(△は減少)	773,326
その他	△48,265
小計	1,405,706
利息及び配当金の受取額	30,679
利息の支払額	△6,244
和解金の支払額	△6,000
法人税等の支払額	△586,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	838,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△7,201
有形固定資産の取得による支出	△392,369
無形固定資産の取得による支出	△13,581
その他	207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△412,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000
自己株式の取得による支出	△837
配当金の支払額	△99,833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△600,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	406
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,177
現金及び現金同等物の期首残高	2,949,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,774,500

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	<p>当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)</p>
<p>会計処理基準に関する事項 の変更</p>	<p>重要な資産の評価基準及び評価方法 の変更 たな卸資産 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。 これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ15,376千円減少しております。</p>

【簡便な会計処理】

	<p>当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)</p>
<p>1. 固定資産の減価償却費の 算定方法</p>	<p>定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。</p>
<p>2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法</p>	<p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。</p>

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	<p>当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)</p>
<p>税金費用の計算</p>	<p>税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、11,262,264千円であります。</p> <p>2. 偶発債務</p> <p>(1) 非連結子会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。</p> <p style="padding-left: 20px;">曾田香料(昆山)有限公司                      38,000千円</p> <p>(2) 債権流動化に伴う買戻義務額                      280,404千円</p>	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、11,004,287千円であります。</p> <p>2. 偶発債務</p> <p>(1) _____</p> <p>(2) 債権流動化に伴う買戻義務額                      130,300千円</p>

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
<p>※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p style="padding-left: 20px;">給料及び手当    556,698千円</p> <p style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入額    299,791</p> <p style="padding-left: 20px;">役員賞与引当金繰入額                                      7,601</p> <p style="padding-left: 20px;">退職給付費用    106,779</p> <p style="padding-left: 20px;">役員退職慰労引当金繰入額                                16,512</p>

当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
<p>※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p style="padding-left: 20px;">給料及び手当    265,738千円</p> <p style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入額    166,393</p> <p style="padding-left: 20px;">役員賞与引当金繰入額                                      3,800</p> <p style="padding-left: 20px;">退職給付費用    53,965</p> <p style="padding-left: 20px;">役員退職慰労引当金繰入額                                9,042</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	2,774,500
現金及び現金同等物	<u>2,774,500</u>

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数  
 普通株式 10,000千株
2. 自己株式の種類及び株式数  
 普通株式 3千株
3. 新株予約権等に関する事項  
 該当事項はありません。
4. 配当に関する事項  
 (1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月25日 定時株主総会	普通株式	99,972	10	平成20年3月31日	平成20年6月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年11月6日 取締役会	普通株式	99,964	10	平成20年9月30日	平成20年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

当社グループは単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	517,837	510,481	119,196	59,720	1,207,236
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	5,122,138
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.1	10.0	2.3	1.2	23.6

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,098,335	1,053,628	309,886	121,059	2,582,910
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	10,185,135
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.8	10.4	3.0	1.2	25.4

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州……スイス、英国、フランス
- (3) 北米……米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成20年9月30日）

著しい変動がないため記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成20年9月30日）

当社グループの利用しているデリバティブ取引にはヘッジ会計が適用されているため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 1,142円04銭	1株当たり純資産額 1,064円49銭

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 91円17銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 46円50銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期純利益(千円)	911,394	464,895
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	911,394	464,895
期中平均株式数(千株)	9,996	9,996

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

著しい変動がないため記載を省略しております。

## 2【その他】

平成20年11月6日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額……………99百万円

(ロ) 1株当たりの金額……………10円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成20年12月10日

(注) 平成20年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月4日

曾田香料株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 原 一浩 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山口 光信 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。